

Career Interview

キャリアインタビュー

福祉部 高齢福祉課
施設整備担当課長

仲田 賢太郎さん

(平成15年度入区)

新しい仕事に向き合うたびに 新しい自分に出会い、成長していく

高齢福祉課は、私が18年前に入区し最初に配属された課でもあります。これからは台東区でも確実に高齢化が進むため、従来の介護サービスを提供すると同時に、介護「予防」事業に注力すべきフェーズであると実感しています。

区役所では必ず異動があり、私も高齢福祉課から環境課、スポーツ振興課を経て現職です。部署によって全く違う仕事に取り組む必要があることを、難しそうだと感じる方もいるかもしれませんが。しかしそれぞれの仕事に面白さがあり、人脈や経験は必ず次の異動先で生きてくるものです。新しい仕事に向き合うたびに新しい自分に出会えることも成長につながります。

管理職となった今でこそ、焦らずに部下の意見を待とう、様々な人の話を聞いて熟考しようと思えるようになりましたが、新人の頃は私も一人で抱え込んでつまづいていたものです。区の仕事はチームワーク。台東区には、人と人が対話しながら課題を解決していく組織風土があります。これからもたくさんのチャレンジを仲間たちと続けていきたいです。



経歴

平成15年	高齢福祉課
平成21年	環境課
平成25年	スポーツ振興課
令和2年	高齢福祉課 (施設整備担当課長)

先輩に
聞いてみた!

先輩×後輩対談

品川さん: 入区して半年が経つけれど、仕事には慣れてきましたか?

弘田さん: やっと少し慣れてきて、業務の中でも気づけることが増え

てきたかなと思っています。

品川さん: 最初はこちらが教えるだけの一方だったのが、最近は気になる点などを共有してくれて、双方向のやり取りになりつつあるよね。

弘田さん: 入区当初はわからないことだらけで、会議の議事録を書くのにも専門用語を知らなくて、平仮名で書いて後で調べ

たりしていました。そんな中、品川さんの存在はとても心強かったです。

品川さん: サポーター役を任せられ、私も最初は不安だったけれど、弘田さんはとても真面目で仕事も丁寧で、すぐに「この子は大丈夫!」と安心しました。

弘田さん: 私のほうこそ社会人として初めての職場で不安も大きかったのですが、品川さんはとても話やすく優しい先輩で本当にありがたかったです。



先輩

地域整備第一課
品川 愛美さん
(平成30年度入区)



後輩

地域整備第一課
弘田 絵梨奈さん
(令和4年度入区)

「先輩の部屋」先輩×後輩対談の続きおよびロングインタビューはこちらから!▶

